

<p><b>科目名：母性臨床看護Ⅱ</b></p>	<p>必</p>	<p>2 単位</p>
<p>( Motherly clinical nursing )  履修年次/時期：2 年次 通年 授業形態：講義・演習  担当教員：村井みどり（実務経験あり） 上西由美（実務経験あり）久保貴巳子（実務経験あり）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>1. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の健康状態をアセスメントする力を養い、看護に関連する理論と方法を修得する。  2. 母性看護学実習に活用できるように妊娠・分娩・産褥・新生児期の看護に必要な基本看護技術を修得する。  DP 1、2、3 および CP 1、2、3、4、5、6 に関連する 科目 No.KNz-222</p>	
<p>到達目標</p>	<p>①妊娠・分娩・産褥・新生児期の健康診査に必要な情報収集と観察項目がわかる。  ②妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の全体像を表現できる。  ③妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の看護過程の作成ができる。  ④対象者の退院を見据えた保健指導案の作成を体験し、効果的な指導について理解する。  ⑤カンファレンステーマの決定から実施ができ、効果的なカンファレンスについて理解する。  ⑥母性看護に必要な基礎看護技術を修得できる。  ⑦観察した妊娠・分娩・産褥・新生児期の内容を ISBARC の6要素で報告できる。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>母性看護学概論及び母性生理的变化で学んだ学習内容を基礎とし、妊婦・分娩・産褥・新生児に必要な看護の実際について家族という視点で学習する。具体的には妊娠の成立から分娩・産褥・新生児が正常な過程をたどるために必要な看護と異常を伴う看護について学習する。必要な看護について既習の看護過程を基に援助の実際を学習する。また臨床看護技術では技術演習を通して看護技術の修得をする。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>課題評価（50%） 定期試験（50%）  評価に対するフィードバックは掲示で行う</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】0.5 時間  【復習】0.5 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院  太田操著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第3 版、医歯薬出版  平澤美恵子他：写真でわかる母性看護技術アドバンス、インーメディカ</p>	
<p>参考書</p>	<p>1. 大野勉編：新生児の症状・所見マスターブック メディカ出版  2. 村越毅：帝王切開バイブル、メディカ出版  3. 佐世正勝・石村由利子著：ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図、医学書院。  その他は授業の中で適宜紹介します。</p>	
<p>お問い合わせ 連絡先</p>	<p>村井みどり 9：00-17：00 3号館3階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください  上西 由美 9：00-17：00 3号館3階研究室 kaminishi@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください  久保貴巳子 9：00-17：00 3号館3階研究室 k.kubo@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください</p>	